



施工上の注意事項



動画

角型TACレックス
施工上の注意事項

角型TACレックス

① ご使用の前に(運搬・保管)

※TACレックス/難燃TACレックス/メタルパワー 共通

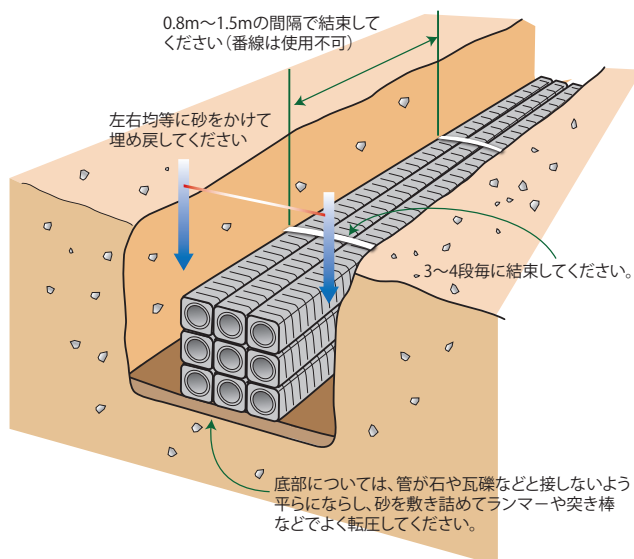
運搬 管を取り扱う際は、下記の点に十分注意して行ってください。

- 管を投げ落とさないでください。
- 管を引きずらないでください。
- トラック等で運搬するときは、荷崩れが生じない様な処置を施してください。

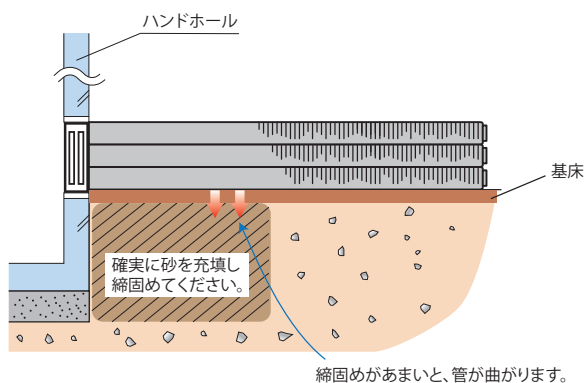
保管 管及び部品を保管する場合は、下記の点に十分注意して行ってください。

- 平坦な場所に保管してください。
- 保管中に土砂等の侵入がない様に、両端のカバーは使用するまで取り外さないでください。
- 積み重ねる場合は崩れ等がない様に注意してください。
- 炎天下において高温になると変形等が発生する可能性がありますので、部品等は直射日光を避け、倉庫等に保管してください。
- 部品等の箱は、積み重ねしないでください。
- 部品に強い衝撃を加えると破損する恐れがありますので、取り扱いに注意してください。

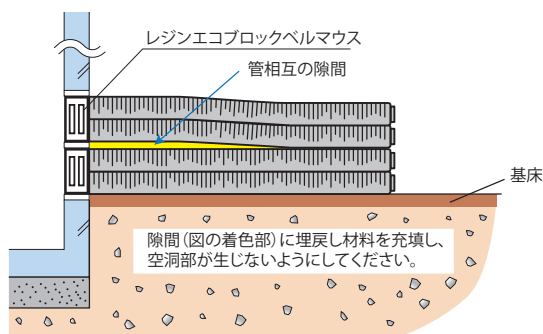
② 掘削・管の結束、敷設



③ ハンドホール際の埋め戻しについて

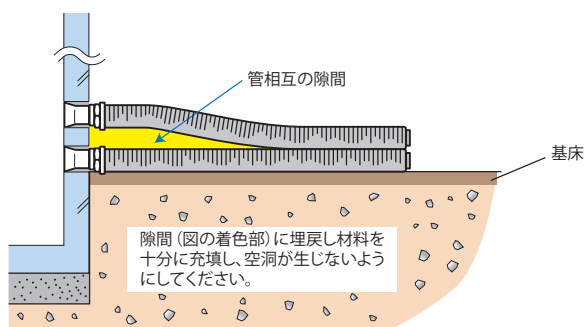


④ ハンドホールとの接続 レジンエコブロックベルマウスを重ねて使用する場合



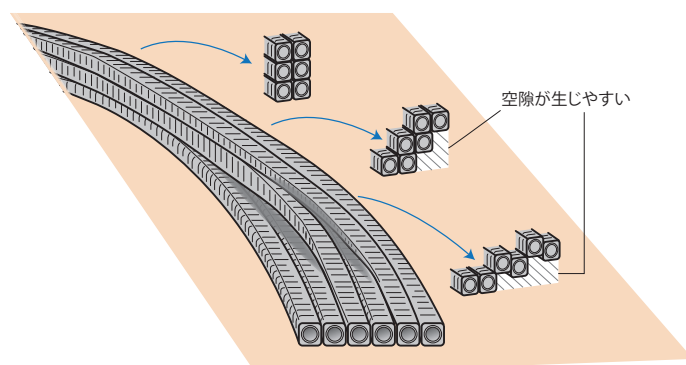
⑤ ハンドホールとの接続 管相互を離して配置する場合

※TACレックス/難燃TACレックス/メタルパワー 共通



⑥ 段崩しによる施工を行う場合

配管を崩した角型TACレックスの下側には、砂や土のう等を確実にに入れてください。



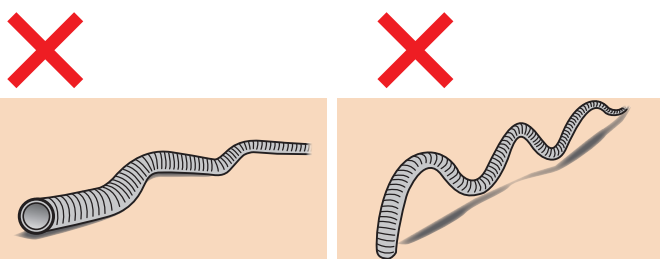
TACレックス / 難燃TACレックス / メタルパワー

① ご使用前に

- 管の結束をほどくと、管が反発しますので注意してください。
- 管の中にパイロットワイヤーが入り込まないように、管を伸ばす前にパイロットワイヤーの余長部を伸ばしてください。

左ページ「角型TACレックス」の①と同様に、
運搬・保管の際にはご注意ください。

③ 管の曲がりを修正してから敷設してください



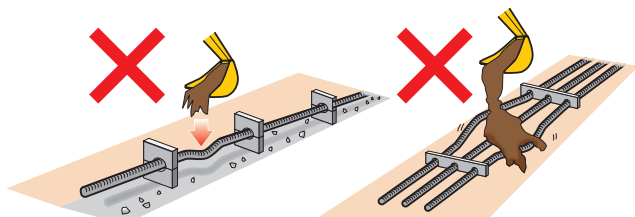
(平面上の蛇行)

(上下方向の蛇行)

土圧で管の曲がりが小さくなり、通線に支障をきたす場合があります(特に上下蛇行)。

④ 管の敷設と埋め戻しについて

- 管台を使用しないでください
- 最初に、スペーサーの上に砂をかけて固定してください。その後、スペーサーは引き抜いてください。



土圧で管に曲がりが生じます。

スペーサー部以外から砂をかけると配置乱れの原因となります。

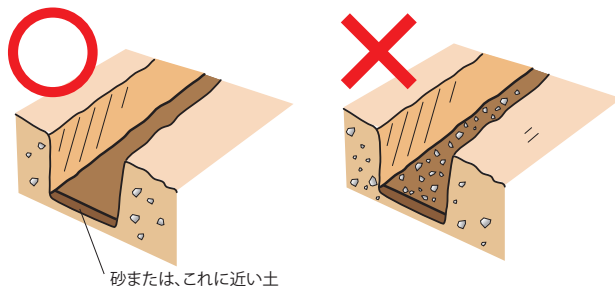
⑥ 試験棒通し

※ 角型TACレックス 共通

- 管の整直性、および管内部の異常の有無を確認するため、試験棒を通してください(土砂を埋め戻す前に必ず行ってください)。

② 堀削溝について

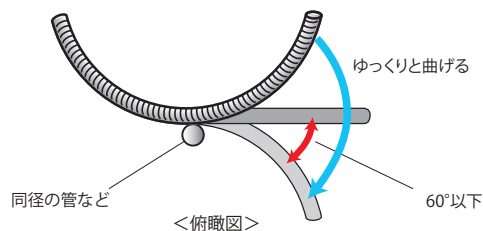
- 基床部は、管が石や瓦礫などと接しないよう平らにならし、砂を敷き詰めてランマーや突き棒などでよく転圧してください。



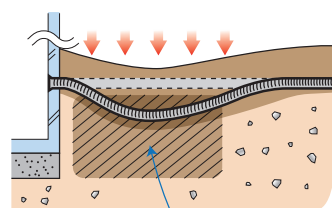
砂または、これに近い土

《管の曲がりの修正》

- 同径の管の端材等を利用し、図のように反対方向にゆっくりと曲げてください。



⑤ ハンドホール際の埋め戻しについて



転圧が不十分だと土圧により管が曲がります。

メタルパワー：管の切断について

作業の際は以下の点にご注意ください。

- 切断時の切粉
切断作業中に切粉が飛散する恐れがありますので、保護メガネをご使用ください。
- 切断面のバリ
切断箇所の端面は、ヤスリ等で突起のないよう仕上げてください(鋼板のバリ等により怪我をする恐れがあります)。仕上げ作業を行う際は、耐切創手袋を着用してください。